



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社 ニッチツ

上場取引所 東

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 祐生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 管理本部長兼 経営管理部長 (氏名) 艸薺 望 TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,102	5.4	53		90		36	
2022年3月期第2四半期	3,893	11.8	67		32		20	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 84百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 11百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	17.65	
2022年3月期第2四半期	9.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	15,173	10,762	70.9	5,168.94
2022年3月期	14,986	10,860	72.5	5,241.02

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,762百万円 2022年3月期 10,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	5.6	220		190	297.5	40		19.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,130,000 株	2022年3月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	47,828 株	2022年3月期	57,885 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,076,431 株	2022年3月期2Q	2,068,093 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、インフレ進行とそれを背景とした米国中心の政策金利の引き上げが続く中、中国におけるゼロコロナ政策維持の影響も相俟って、先行きに対する不透明感が増しております。日本経済は、円安・資源価格上昇が進むなか、設備投資が増加する一方で輸出が鈍化し、個人消費の回復も物価高が重しとなり緩やかなものとなりました。

そうした中、造船業界では、新造船受注は前年同期に比して減速し、竣工量も低い水準に留まりました。

当社を取り巻く事業環境については、機械関連事業の船用機器部門は、前年度からの国内造船所の受注積上げを反映し需要に回復が見られました。産業機器部門は、水力・風力発電等に需要が見られるものの、火力発電、製鉄関連は引き続き厳しい状況にあります。また、資源関連事業については、半導体関連分野において、一部最終消費財に陰りが見られるものの、全体的に需要は堅調に推移しました。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は横ばいから上昇に転じ、賃料は下落傾向が継続しています。

上述の如き環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,102百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は53百万円（前年同期は67百万円の営業損失）、経常利益は90百万円（同32百万円の経常損失）、関係会社出資金売却損42百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円（同20百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

#### ①機械関連事業

船用機器部門は、ハッチカバーが売上回復に至らない一方で、船殻ブロックは堅調に推移し作業効率も向上したことから採算の改善が進みました。産業機器部門は、製鉄関連で売上は減少となりましたが、水力・風力発電等重電関連によりカバーいたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は2,364百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は11百万円（前年同期は140百万円の営業損失）となりました。

#### ②資源関連事業

結晶質石灰石部門は、前年度からの原石の白色度低下の影響が続き、引き続き低迷いたしました。ハイシリカ（精製珪石粉等）部門は、半導体関連が中国向けの需要減を国内向けの旺盛な需要でカバーし、光学関連も半導体露光装置向けガラスの需要が大きく伸びたことに加え特殊ガラス用途が需要増となり、同部門全体として大きな増収となりました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は1,277百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は8百万円（同71.5%増）となりました。

#### ③不動産関連事業

売上高は前年度並みの67百万円（前年同期比2.7%増）に対し、修繕維持費の増加により、営業利益は19百万円（同17.2%減）となりました。

#### ④素材関連事業

耐熱塗料部門は、前年度好調であった輸出が伸び悩み、一方でライナテックス（高純度天然ゴム）関連部門は、前年度のスポット要因の剥落を新規顧客開拓等の営業活動で補いました。

この結果、素材関連事業全体では、売上高は393百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は11百万円（同72.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、15,173百万円となり、前連結会計年度末比186百万円増加いたしました。これは、主に、現金及び預金の増加等により流動資産合計で493百万円増加したことによるものであります。

負債合計は4,410百万円となり、前連結会計年度末比284百万円増加いたしました。これは、主に、その他に含まれる未払金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は10,762百万円となり、前連結会計年度末比97百万円減少いたしました。これは、主に、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は70.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は4,769百万円となり、前連結会計年度末(4,342百万円)より427百万円(前連結会計年度末比9.8%増)増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、176百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ79百万円の減少)となりました。これは主に、減価償却費が166百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、283百万円(前年同四半期連結累計期間は333百万円の支出)となりました。これは主に、関係会社出資金の売却による収入が411百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、33百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ22百万円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額31百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,342,045	4,769,580
受取手形、売掛金及び契約資産	1,928,268	1,885,699
電子記録債権	348,933	508,846
商品及び製品	143,929	115,128
仕掛品	772,892	712,186
原材料及び貯蔵品	271,900	334,341
その他	377,985	353,384
貸倒引当金	△254	△268
流動資産合計	8,185,699	8,678,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,563,462	1,527,041
機械装置及び運搬具（純額）	703,623	695,633
土地	2,302,680	2,302,680
その他（純額）	97,955	417,058
有形固定資産合計	4,667,722	4,942,414
無形固定資産	103,144	98,158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,320,275	1,354,611
その他	710,452	100,383
貸倒引当金	△1,082	△1,382
投資その他の資産合計	2,029,645	1,453,612
固定資産合計	6,800,512	6,494,186
資産合計	14,986,212	15,173,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	628,046	695,446
短期借入金	1,224,640	1,214,560
未払法人税等	33,029	43,976
賞与引当金	83,688	82,497
受注損失引当金	91,954	81,381
事業構造改革引当金	68,351	45,513
その他	737,193	1,062,520
流動負債合計	2,866,902	3,225,894
固定負債		
長期借入金	20,000	10,000
役員退職慰労引当金	22,405	23,800
役員株式給付引当金	45,088	33,106
環境安全対策引当金	4,972	4,372
退職給付に係る負債	733,681	725,670
資産除去債務	87,310	87,362
その他	345,847	300,254
固定負債合計	1,259,304	1,184,565
負債合計	4,126,207	4,410,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	8,695,846	8,700,550
自己株式	△106,925	△88,324
株主資本合計	10,500,177	10,523,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,716	294,705
繰延ヘッジ損益	1,753	275
為替換算調整勘定	148,783	-
退職給付に係る調整累計額	△62,426	△55,839
その他の包括利益累計額合計	359,826	239,142
純資産合計	10,860,004	10,762,625
負債純資産合計	14,986,212	15,173,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,893,912	4,102,351
売上原価	3,430,715	3,526,760
売上総利益	463,197	575,591
販売費及び一般管理費	530,661	522,342
営業利益又は営業損失(△)	△67,463	53,248
営業外収益		
受取利息	267	263
受取配当金	24,943	28,470
持分法による投資利益	18,554	25,323
その他	43,124	53,403
営業外収益合計	86,889	107,460
営業外費用		
支払利息	4,382	4,209
休廃止鉱山管理費	45,025	49,366
その他	2,425	17,042
営業外費用合計	51,833	70,617
経常利益又は経常損失(△)	△32,407	90,092
特別利益		
固定資産売却益	338	935
特別利益合計	338	935
特別損失		
固定資産処分損	3,020	3,038
投資有価証券評価損	1,407	—
関係会社出資金売却損	—	42,886
特別損失合計	4,428	45,925
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,497	45,102
法人税、住民税及び事業税	24,026	41,598
法人税等調整額	△39,950	△33,146
法人税等合計	△15,923	8,452
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,574	36,650
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,574	36,650



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△20,574	36,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,827	22,989
繰延ヘッジ損益	465	△1,478
退職給付に係る調整額	7,900	6,587
持分法適用会社に対する持分相当額	31,785	△148,783
その他の包括利益合計	9,323	△120,684
四半期包括利益	△11,250	△84,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,250	△84,034
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,497	45,102
減価償却費	168,073	166,507
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,205	1,395
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△1,431	△11,981
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,964	△1,191
受注損失引当金の増減額(△は減少)	128,036	△10,573
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,673	1,481
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	△22,837
受取利息及び受取配当金	△25,211	△28,733
支払利息	4,382	4,209
持分法による投資損益(△は益)	△18,554	△25,323
関係会社出資金売却損(△は益)	—	42,886
投資有価証券評価損益(△は益)	1,407	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△338	△935
有形固定資産処分損益(△は益)	3,020	3,038
売上債権の増減額(△は増加)	348,442	△117,344
棚卸資産の増減額(△は増加)	△110,978	27,066
未収入金の増減額(△は増加)	△80,555	△123,028
仕入債務の増減額(△は減少)	17,346	81,799
未払費用の増減額(△は減少)	△206,204	△55,304
その他	△10,314	96,268
小計	193,128	72,501
利息及び配当金の受取額	25,811	29,333
利息の支払額	△4,468	△4,278
保険金の受取額	59,440	103,208
法人税等の支払額	△17,179	△23,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,731	176,887
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,455	△2,755
有形固定資産の取得による支出	△256,844	△130,150
有形固定資産の売却による収入	366	1,385
無形固定資産の取得による支出	△75,479	△3,086
関係会社出資金の売却による収入	—	411,321
その他	476	6,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,935	283,459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,080	△20,080
自己株式の取得による支出	△80	△52
自己株式の売却による収入	9,604	18,653
配当金の支払額	△20	△31,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,577	△33,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	343
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△87,765	427,535
現金及び現金同等物の期首残高	4,840,288	4,342,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,752,523	4,769,580

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,283,129	1,161,763	65,375	383,644	3,893,912	-	3,893,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,677	119	-	9,254	17,050	△17,050	-
計	2,290,807	1,161,882	65,375	392,899	3,910,963	△17,050	3,893,912
セグメント利益又は損 失(△)	△140,649	4,684	23,798	43,056	△69,110	1,646	△67,463

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去4,950千円、全社費用△3,303千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,364,261	1,277,565	67,150	393,374	4,102,351	-	4,102,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,396	322	-	150	9,868	△9,868	-
計	2,373,658	1,277,887	67,150	393,524	4,112,220	△9,868	4,102,351
セグメント利益	11,477	8,032	19,711	11,732	50,955	2,293	53,248

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去5,040千円、全社費用△2,745千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。